

国内初のOpenStackカンファレンス「OpenStack Day Tokyo 2013」を開催/実用化段階を迎えたOpenStackの活用事例や運用ノウハウを一堂に公開

オープンソースで開発されるクラウド基盤ソフトウェアであるOpenStackの普及促進に取り組む日本OpenStackユーザ会（会長：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 中島倫明、以下JOSUG）は本カンファレンスを実施するための実行委員会を発足し、来る3月12日(火)秋葉原コンベンションホールにおいて、日本で初めてのOpenStack専門カンファレンスである「OpenStack Day Tokyo 2013」を開催します。

近年、クラウドコンピューティングは、企業や個人、行政、教育、研究の分野まで幅広く活用されるようになり、従来のITシステムでは実現できなかった様々なサービスが提供されるようになりましたが、クラウド管理基盤技術の1つであるOpenStackは、ベンダーに依存しないオープンソースソフトウェアであり、柔軟なモジュール設計とスケーラビリティ、互換性などの特長が評価されて、世界中で非常に注目が高まっています。

しかしながら、日本国内においては、幾つかの企業がOpenStackのサポートを表明し、クラウドサービス提供者の関心も高まってきているものの、その普及は欧米諸国だけでなく他のアジア諸国の後塵を拝しているのが現状です。

「OpenStack Day Tokyo 2013」は、「OpenStack - Business Ready!」をテーマに掲げ、クラウドサービス提供者をはじめ、技術者および経営者層やビジネスユーザなどのクラウド利用者に、クラウド市場の新しい発展の方向性を示し、既に実用段階に入ったOpenStackのメリットを再認識していただけるよう、国内外の有益な最新情報を共有できる機会を提供します。

基調講演には、OpenStackプロジェクト共同創始者の1人であり、現在OpenStack FoundationのCOOとして、OpenStack開発コミュニティとビジネスエコシステムを成長させるためのマーケティングやビジネスディベロップメントを主導するMark Collier（マーク・コリアー）氏に「The Rising Stack: How & Why OpenStack is Changing IT」と題してご講演いただきます。同じく基調講演に国立情報学研究所(NII)アーキテクチャ科学研究系特任教授で、クラウド基盤運用技術を研究分野とする横山重俊氏に「Education and Research on Open Cloud」と題して発表いただきます。

また、JOSUGメンバーを含み国内外20以上の企業・団体が「OpenStack Day Tokyo 2013」に協賛・後援しており、講演ならびに併設展示会場にて、海外のOpenStack活用事例や運用ノウハウ、各社の最新ソリューションを公開します。

「OpenStack Day Tokyo 2013」は、JOSUGのボードメンバーから選出された8名により構成されるOpenStack Day Tokyo 実行委員会が運営を担います。

プログラム詳細、および最新情報は以下をご覧ください。

<http://openstackdays.com/>

◆ 開催概要

<http://openstackdays.com/>

名称 : OpenStack Day Tokyo 2013
テーマ : OpenStack - Business Ready!

日時 : [2013年3月12日\(火\)](#) 10:00~18:30 (開場9:30予定)
会場 : 秋葉原コンベンションホール (JR秋葉原駅前)

主催 : OpenStack Day Tokyo 2013 実行委員会
実行委員長 : 株式会社ビットアイル 長谷川 章博
後援 : 総務省、経済産業省、一般社団法人クラウド利用促進機構 (CUPA)
クラウド・ビジネス・アライアンス (CBA)
仮想化インフラストラクチャ・オペレーターズグループ (VIOPS)
Open Standard Cloud Association (OSCA)

内容 : 基調講演、協賛企業セッション (2トラック)、協賛企業ブース展示
対象 : クラウドを導入したいCTO・CIO層、クラウドビジネスの企画者、
クラウド業界のビジネスユーザ、クラウド業界内開発者、パートナー企業、
データセンタ・テレコム業界のビジネスユーザ、
ICTへの関心と利用率の高いビジネスユーザ
定員 : 500名(予定)

参加費 : 無料
申込 : 以下のWebサイトから
<http://openstackdays.com/>
〆切 : [2013年3月1日\(金\)](#) 17:00迄 (予定)
※定員となり次第締め切らせていただきます

◆ 基調講演

◇ Mark Collier氏
Co-Founder, OpenStack C00, OpenStack Foundation
講演タイトル「The Rising Stack: How & Why OpenStack is Changing IT」
※同時通訳あり

◇ 横山重俊氏
国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系特任教授
講演タイトル「Education and Research on Open Cloud」 ※日本語セッション

◆ 「OpenStack Day Tokyo 2013」協賛企業 (50音順) 2013/2/13現在

※最新の協賛状況は以下をご参照ください。
<http://openstackdays.com/sponsor/>

[ゴールドスポンサー]

Industrial Technology Research Institute
アリスタネットワークスジャパン合同会社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
デル株式会社
東京エレクトロンデバイス株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社
日本電気株式会社
日本ヒューレット・パカード株式会社
ネットワンシステムズ株式会社
ミドクラジャパン株式会社
株式会社モーフ・ラボ

[シルバースポンサー]

Quanta Computer
NTTソフトウェア株式会社
株式会社ビットアイル

[ブロンズスポンサー]

NECネッツエスアイ株式会社
株式会社アルティマ
特定非営利活動法人エルピーアイジャパン
日本仮想化技術株式会社
ミラクル・リナックス株式会社

■ OpenStack / OpenStack Foundationについて

<http://www.openstack.org/>

OpenStack（オープンスタック）は、パブリック/プライベートクラウド基盤を構築するオープンソースソフトウェアでグローバルなコミュニティにより開発されています。標準的なハードウェア上で、KVM、Xen、VMware ESXi、Hyper-Vなどの仮想化ソフト（ハイパーバイザー）と組み合わせ、IaaS（Infrastructure as a Service）やストレージサービスを提供するための仮想マシンやストレージ、ネットワークの管理機能などを提供します。OpenStackプロジェクトは、2010年、大手データセンター事業者である米Rackspace（ラックスペース）社と米航空宇宙局（NASA）が中心となって開発し、2012年に設立された非営利団体OpenStack Foundationに開発やライセンスの管理が移管されました。その後、HP、IBM、DELL、Cisco、Red Hatなど大手ベンダーをはじめとし、80ヶ国180以上の企業・団体の支持を得て、6,000名以上の開発者を抱えるまでに成長し、既に世界中の多くのサービスがOpenStackをクラウド基盤として利用しています。

■ OpenStack Day Tokyo 2013 実行委員会について

日本OpenStackユーザ会のボードメンバーから選出された委員会で、本カンファレンスの企画・実行を担当しています。メンバーは以下の8名から構成されています。

長谷川 章博（株式会社ビットアイル） ※委員長
荒井 康宏（一般社団法人クラウド利用促進機構）
岡 あゆみ（NTTソフトウェア株式会社）
金野 諭（株式会社モーフ・ラボ）
高橋 千恵子（日本電気株式会社）
中島 健（ミドクラジャパン株式会社）
中島 倫明（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）
真壁 徹（日本ヒューレット・パッカー株式会社）

■日本OpenStackユーザ会について

<http://openstack.jp/>

日本OpenStackユーザ会(Japan OpenStack User Group=JOSUG)

は、オープンソースのクラウド基盤ソフトウェア「OpenStack」の普及や人材育成に寄与することを目的として、[2010年10月22日](#)

に設立しました。JOSUGは、クラウド基盤ソフトウェアを包括的に扱うコミュニティであるオープンクラウドキャンパス(opencloud.jp)の一部(分会)として、OpenStackに関する日本語による情報発信やセミナー、勉強会などの活動を行っており、OpenStackに興味を持つ個人、団体、企業は誰でもコミュニティに参加できます。

JOSUGは2013/02/12

現在、(株)NTTデータ、NTTデータ先端技術(株)、仮想化インフラストラクチャ・オペレーターズグループ(VIOPS)、一般社団法人クラウド利用促進機構(CUPA)、クリエーションライン(株)、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所、(株)ミドクラ、(株)モーフ・ラボ(以上、50音順)です。現在は発足メンバーに加え、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、(株)インターネットイニシアチブ、NTTソフトウェア(株)、クラウディア(株)、デル(株)、日本ヒューレット・パッカー(株)、(株)ビットアイルが加わり、合計17の企業・団体により運営されております。

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>